

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 ヨハネ1:1-3 御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
- *賛美 308番 実れる田の面(も)は
- *交説文 8番
- *使徒信条 会衆一同
- *頌栄 173番 燃ゆるみたまよ
- 礼拝のための祈り 成田エクレシア:史執事 天声:小林 伝道師
- 賛美 40番 輝く日を仰ぐとき
- メッセージ ヘブライ語 - 神のことばを構成するDNA(マタイ5:17-19)
- 御言葉を適用する祈り .. 一同
- 賛美 78番 ここも神の
- 献金感謝の祈り パスター
- 報告 今週月-金は、コーランジャパン講義が行われます。奮ってご参加下さい。働き人は全員奉仕に出ますが、定時の祈祷会は行われます。なお、次週主日は、午後が成田の礼拝となり、英語礼拝はありません。さらに11/24主日は、収穫感謝祭となります。
- *主の祈り 会衆一同
- *祝祷 パスター

天声教会は

- ・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。(ヨハネ1:1、マタイ3:17、17:5)
- ・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。(ローマ10:10)
- ・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。(ローマ10:10)
- ・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。(テサロニケ3:5)

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

最初に言があった。言は神と共にあった。言は神であった。この言は最初に神と共にあった。すべてのものは、これによってできた。できたもののうち、一つとしてこれによらないものはなかった。この言に命があった。そしてこの命は____の光であった。光はやみの中に輝いている。そして、やみはこれに勝たなかつた…。

すべての人を照すまことの光があつて、世にきた。彼は世にいた。そして、世は彼によつてできたのであるが、世は彼を知らずにいた。彼は自分のところにきたのに、自分の民は彼を受け入れなかつた。しかし、彼を受けいれた____、すなわち、その名を信じた____には、彼は神の子となる力を与えたのである。その____は、血すじによらず、肉の欲によらず、また、人の欲にもよらず、ただ神によって生れたのである。そして言は肉体となり、____のうちに宿つた。____はその栄光を見た。それは父のひとり子としての栄光であつて、めぐみとまことに満ちていた。(ヨハネ1:1-5,9-14)

今週はジャパンコーランの学びの週である。いつもは聖書の一つの書をピックアップして、その書をヘブライ思考で学んでいるが、今回は異例にも、ヘブライ語アルファベット22文字に込められた意味を学ぶ。

ヘブライ語は、一般言語として現実にユダヤ人の間で用いられているが、他の言語と違い、単語の組み合わせにも、そして一点一画にも、靈的意味が込められた「神の言語」である。またヘブライ語は、神が人を創造し、エデンに置いて以来、バベルの塔の時に言語が混乱してしまうまで、全人類が一つの言葉で話していた、原初の言語である。今週の講義に先立ち、その神秘的な性質の一端を、少し見て行きたい。

エデン以来使われていた言語はヘブライ語である、という根拠は、アダムがエデンで会話をした言葉にある。『これこそ、ついにわたしの骨の骨、わたしの肉の肉。男(אָנָהイシュ)から取ったものだから、これを女(אָנָהイシャー)と名づけよう』(創世記2:23) 日本語で読むと、「男」から取ったらなぜ「女」と名付けられるのか、根拠が分からぬが、この時話されていた言語がヘブライ語であるなら、音声的「語呂合わせ」となる事がなんとなく分かるが、そればかりではない。ヘブライ語に込められた意味も探って行くと、アダムが「女(אָנָהイシャー)」という名を選んで付けた所に、靈的な意味も込められている事が分かって来る。

男(イシュ אָנָה)と、女(אָנָהイシャー)。男(אָנָה)からユッド「ן」を取ると、אֶשׁ(エシュ:火)となり、また女性(אָנָה)からヘー「הָ」を取っても、אֶשׁ(エシュ:火)となる。男と女から「הָןִי」が抜けると、火となってしまう…。その「הָןִי」はヤハと言い、主ジェホバ(יהוָה)の略である(イザヤ12:2,26:4)。つまり男と女は、神である主を抜きにすると、「火」と化してしまうのだ。このような「高度な語呂合わせ」は、ヘブライ語以外では不可能である。

また、主・ジェホバのヘブライ語 יהוָהは、それぞれの文字の意味を順に並べると、「手、見よ、釘、見よ」となり、つまり主の御名の中には、イエス・キリストの十字架の福音が込められていた事が分かる。

また、ヘブライ語は、それぞれの文字に「数字」としての意味も含まれている。最初の語アレフ אַלְפָהは数字の「1」の意味があるが、母音が変わってエレフになると、「1000」になる。『その最も小さい者は氏族(エレフ אַלְפָה:千)となり、その最も弱い者は強い国となる』(イザヤ60:22) つまり、いかに最弱な者であっても、神がタッチしてくださいなら千倍になるのだ。『あなたの大庭にいる一日は、よそにいる千日(אַלְפָה)にもまさる(コロトーブ: パーフェクト、ビューティフル、グッド)のです』(詩篇84:10) 主の庭の外でどんな千日を過ごしたとしても不完全であるが、主と共に主の庭にいる一日は、パーフェクト、ビューティフル、グッドなのだ。

主に立ち返って静かにすれば、救われ、落ち着いて信頼すれば力を得る。しかしそれをしないで、自分の思った方法を採用するなら、いかに神の民と言えど、敵のたつた一人の威嚇によって千(エレフ אַלְפָה)が散り散りに逃げる事になつてしまう(イザヤ30:15-17)。神なしには一、しかし、神が共にいるなら、千なのだ。

書記官が代々、ヘブライ語で手書きで写されて来た聖書は、手書きならではの特徴もそのまま伝授されて来た。ある字がわざと大きく、または小さくされていたり、一見すると写し間違えや文法ミスに見えるような「謎の記載」も、所々にある。しかし主は、そこに大きな意味を隠しておられる。例えば、敢えて逆さまに記された文字と文字の間に、新約のキリストの復活と聖徒達の復活が隠されているたり、あるいは、ヘブライ語の法則を破つて記されている箇所に、処女から生まれたひとりのみどり子の繁栄が示されていたり…。

これはほんの一端で、今週の講義では多くのヘブライ語の神秘を学ぶ事が出来るだろう。まさに『天地が滅び行くまでは、律法の一点、一画もすたることはなく、ことごとく全うされる』(マタイ5:18) である。

ヘブライ大学で22年勉強したキム先生の友人が、言ったそうだ。ヘブライ語は神の言語であり、靈的言語であり、天国の言語だ、と。実際、神の言葉・聖書が記されているヘブライ語は、調べれば調べるほど、いのちのDNAが、宇宙の法則と組成が、そして、神の息遣いが組み込まれている、と、実感して来る。

『最初に言があった。言は神と共にあった。言は神であった。』(ヨハネ1:1) 私達は聖書を、世にあたる本の一つとして扱つてはならない。天地を創造し、いのちを創造し、そして全宇宙の法則以上の根源的な言葉として重んじ、そして、御言葉を「神ご自身」として敬いつつ、私達のうちに摂り入れるべきである。

横浜天声キリスト教会 礼拝 週報



集会案内

主日礼拝(日曜)

日本語礼拝 賛美 10:30 礼拝 11:00
食事/フェローシップ 12:30~
English Service 14:00~

日々の集会

月~金 早天祈祷会 5:00~
火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00~
火~木 夜の祈祷会 19:30~

水曜礼拝
1部 13:00~
2部 19:30~
金曜徹夜祈祷会 21:00~

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → youtube.com/c/横浜天声キリスト教会

アクセス



横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
JR・関内駅より徒歩10分
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で
聖書メッセージをメールで
毎日携帯にお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！

〒231-0058 パスター：林和也 川合ゆきえ
神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストークタワー大通公園 I-201
TEL/FAX: 045-326-6211



Homepage: <http://voice.of.christ.yokohama/>
email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp

You Tube